

一般・消化器外科で大腸癌診療を行った患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター一般・消化器外科では、「大腸癌手術症例における炎症性マーカーと血球分画、短期および長期予後に関する臨床研究」を行うことになりました。

この研究の目的は、当院一般・消化器外科をはじめとする地域基幹病院において大腸癌の手術・診療を行った患者さんの臨床病理学的な特性、診断、診療の効果・安全性に関して検討し、新たな臨床試験の資料とすることです。

この研究のため、2009年8月1日から2019年12月31日までに大腸癌に対して治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは当院一般・消化器外科で大腸癌の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（臨床所見、病理所見、採血データ、術式、治療経過等）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、慶應義塾大学医学部 外科学教室 一般・消化器外科に送られ、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。本研究における他の参加施設は慶應義塾大学病院、足利赤十字病院、栃木県立がんセンター、済生会宇都宮病院、川崎市立川崎病院、さいたま市立病院、平塚市民病院、Zealand University、Department of Massachusetts General Hospital、King Hussein Cancer Center、TXP Medical 株式会社、東京大学医学部附属病院救急集中治療部です。また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2026年5月

研究責任者

東京医療センター 一般・消化器外科

島田 岳洋

連絡先 03-3411-0111(代表)